



小さき群

救主降世2013年5月号

第83号

2013年度北海道教区宣教目

『確かに未来はある あなたの希望が断たれることはない』

箴言23章18節

「ジャージの天使」

マーガレット・小椋育愛

私は現在、訪問看護の仕事をしています。訪問看護とは、在宅の患者さんを対象に定期的に訪問して健康チェックを行う仕事のことです。その中で薬がきちんと飲めているか確認したり、入浴介助や必要であれば医師の指示のもと点滴や注射などを行うこともあります。

つい最近、外来勤務から訪問看護に異動しました。今は、先輩看護師といっしょに見習い訪問をしているところです。

先日、先輩看護師と初めて訪問した患者さんの話です。患者さんは、92歳のひとり暮らしの男性です。数年前、妻に先立たれ一人きりで住んでいます。現在はヘルパーが毎日、夕食を作ったり掃除をしに来たりします。さらに週2回入浴のデイサービスを利用しています。息子さんも近くにいますが、仕事もあり、日中来ることはありません。そのため、現在は、介護サービスを利用してひとりの生活が成り立っています。訪問看護は、週2回1時間程です。男性はその日を心待ちにしているようです。

男性は精神的に不安定なところがあり、心配事が絶えません。訪問した日も調子が悪く、心臓がドキドキして立つのもやっとな今にも倒れそうな状態でした。血圧や脈拍、聴診器で胸の音を聴いて体調チェックをしていきます。薬はきちんと飲んでいるか、眠れているか、食べれているか？特に血圧や脈拍など身体的には問題ないのですが、ドキドキが止まらず、心臓が苦しいと言います。胸をずっと押さえて苦しうに息をしているのです。これは至急病院にいかねばならないと私は思いました。しかし、先輩看護師は男性にソファで横になるように言って寝かせて聞きました。「何か心配事でもあるのですか？」すると男性は責を切ったように話し始めました。自分の病気の

こと、家族のこと、薬のこと……。30分以上話していたでしょうか。とにかく話が途切れません。その間、先輩看護師は男性の目を見てさらに強く手をにぎって聞き入ります。話の途中でたしなめたり否定したりはしません。「そうだね～」「ほんとうだね」「つらかったね」と共感の言葉だけかけているのです。そして、一通り男性が話し終わると看護師は男性の手や背中をゆっくりさすりながら「大丈夫、私たちがついてるから。みんながちゃんと〇〇さんをみていますよ。」と何度も男性に語りかけます。そのうち男性はそのままソファに横たわって気持ちよさそうに寝息を立てて寝てしまいました。子供のような安心しきった寝顔でした。

数十分寝た後「そろそろ帰りますね。」と声をかけると、「ありがとう。もう大丈夫。すうっと苦しいのがとれたよ。」と男性は言いました。あんなに胸を押さえて苦しうにたのは、きっと不安で心が押しつぶされそうだったのでしょう。『人の心に寄り添う』とはこういうことだと思いました。訪問看護師はジャージを着ています。白衣の天使ならず『ジャージの天使』です。わたしもこれからそんな人の心に寄り添えるような『ジャージの天使』になれるよう頑張ろうと思った瞬間でした。

季節の風

日高嶺ひだかねや

五月の鯉こいを

空にあぐ

羽州

出世魚をかたどったのぼり幟ぼりを、
男子出生を祝って空高くか
かげる。

14. 油

近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋へ連れて行って介抱した。
(ルカによる福音書 10 章 34 節)

「油」は主としてオリーブ油を指します。上記の聖句は昔の口語訳聖書や新改訳聖書では「オリーブ油」となっています。イスラエルでは、秋にオリーブの実を採取し、それを砕くと柔らかいペースト状になります。それを圧搾すると粗製の油が流れてくるので、石づくりの桶に入れて一定の期間、水分と不純物を沈殿させて精製しました。油はぶどう酒と共にパレスチナの主要農産物で、用途は多様でした。

油も脂肪も、脂肪酸3分子とグリセリン(三価のアルコール)1分子がエステル結合したものです。グリセリンは1種類ですが、脂肪酸は多くの種類があり、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸と大きく分けられます。飽和脂肪酸は炭素が16個あるパルミチン酸や、18個あるステアリン酸で、動物の脂肪菜など常温で固体のものに多く含まれています。不飽和脂肪酸はオレイン酸、リノール酸などで植物や魚類からの油に多く含まれます。不飽和脂肪酸の中に、DHAといわれるものがあります。正式には「ドコサヘキサエン酸」といいます。「ドコサ」は炭素が22個あるということ、「ヘキサエン」は炭素が6個ある脂肪酸の種類であることから、「D」は22の、「H」は6の、「A」は酸(acid)の頭文字です。DHAは美容にも良い食品だそうです。

「EPA」も有名になりました。正式には「エイコサペンタエン酸」です。「エイコサ」は炭素が20個、「ペンタエン」は炭素が5個の脂肪酸のことです。EPAは青色の魚に多く含まれている脂肪酸の一種です。

「あぶら」は生物すべてに大切な成分で、植物では種子には必ずありますし、動物では神経繊維を保護するために必要です。聖書では動物の脂肪は他の部位より尊く、神様のもので、一般の人々の食用には供しなかったようです。

(『聖書に見られる理科のこぼれ』文芸社刊より)

4月の教会委員会の報告・決議

1. 前期墓地礼拝日程を5月26日(日)礼拝後とする
2. 十勝合同祈禱会を当教会を会場として6月30日(日)午後3時より
3. 教区礼拝研修会を当教会を会場として10月11日(金)～13日(日)に開催
4. 教会バザーは9月23日(月)(秋分の日)に開催

今後予定される行事

- ・5/18 教区礼拝(札幌)
- ・5/26 春の墓地礼拝
- ・6/21～23 教区修養会(釧路)
- ・6/30 十勝キリスト教連合同祈禱会
(当教会)
- ・7/28 主教巡回日
- ・9/23 聖公会バザー
- ・10/11～13 教区礼拝研修会(当教会)



◎教区修養会のご案内

☆日 程：2013年6月21日(金)～23日(日)
☆場 所：ホテル・グリーンパークつるい
(釧路・鶴居村)

☆参加費：14,000円

☆講 師：西原廉太司祭(中部教区)
岡谷聖バルナバ教会管理牧師
1962年 京都生まれ
立教大学副学長、
聖公会神学院特任教員
世界教会協議会(WCC)中央委員
など
著書
『聖公会が大切にしてきたもの』
『続・聖公会が大切にしてきたもの』

※部分参加も出来ます

ハレルヤ農園便りNO.1

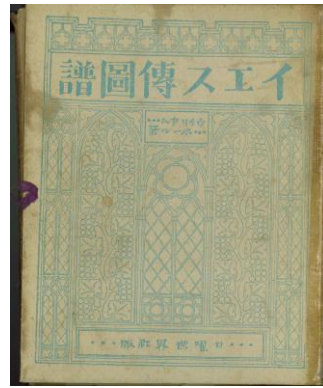
お宝発見？

5月ともなると、音更町の教会ハレルヤ農園も耕作準備が始まります。今年も木末家、橋本家、高橋家の3夫婦にて耕作地を分担し、各夫婦相談しながら（概ね指示を受けながら……どなたの指示ですか？）それぞれのペースで、好みの野菜作りを行ってゆく予定です。今年も5月中に春耕を施し6月になってから苗を植えたり、種を蒔く作業が始まります。

今年は、過去数年来の地道な開墾の成果により、多少の耕作余剰地が生じる事もあり、私たちと一緒に野菜作りをする方を現在募っております。

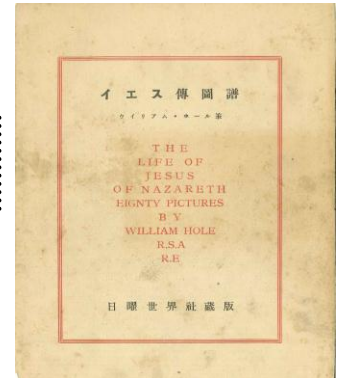
年齢、性別、信仰は問いません。単身参加も歓迎致します。連絡をお待ちしております。

（農園耕作人兼管理人 高橋献一）



『イエス傳圖譜』
外箱

『イエス傳圖譜』
表紙



No.5
『聖誕』



No.69
『聖母のかなしみ』

◎聖霊降臨日(ペンテコステ)

『五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。』
(使徒言行録2章1～4)

この使徒たちに聖霊が降り、様々な異国の言葉で語りだしたことから、キリスト教会の始まり、世界伝道の始まりとも言われます。キリスト教では、この日を「聖霊降臨日」と定めて「降誕日(クリスマス)」「復活日(イースター)」と並ぶ祝日とされています。

聖書に記されている「五旬祭」とはユダヤ教の祭日でもありますが、「復活日」から 50 日目にあたりギリシャ語の「50 番目」を意味する言葉からペンテコステとも言われています。

また聖霊は、「父」「子」「聖霊」の「三位一体」の第三位格に当たり、絵画などでは鳩の絵柄で表されることが多いです。教会の祭色は“炎のような舌”と聖霊を表現したことから赤が用いられます。

「聖霊降臨日」の次の主日から「聖霊降臨後」の主日が年末の「降臨節前主日」まで続きます。

上記の4点は、寺本敦子さんがお持ちの『イエス傳圖譜』と言い、父君の平富儀さんがお求めになられたものであるとの事。幼稚園の教諭時代にこれで子どもたちにお話をされていたそうです。大正13年発行で定価が壹圓八十銭とあり、作者はウィリアム・ホールとしか分かりませんが、発行者西坂保治は著名な聖書学者のようです。

編集後記

青江三奈「長崎ブルース」の一節に♪逢えば別れがこんなにづらい 逢わなきゃ夜がやるせない♪とありまして、独特のハスキーな声で二十歳当時の私の心を乱したものです。実は、『北海の光』4月号の下澤司祭の巻頭言の表題で私は不謹慎にも冒頭の記憶を呼び起こされた次第です。「旧約」の世界で、「コヘトの言葉」は、人生の空しさを感じ、夢も希望もなく、あるのは不条理だけ。「ヨナ書」のヨナは神に逆らい続けたものの、その先どうなったのやら。「ヨブ記」では、神とサタンの賭けの対象とされて幾多の試練を負わされたヨブ。しかし最後には神の全能の前に自らの無知と軽率を認めて、二度と神に疑問を抱かないと約束するヨブ。神の全能性も計り知れなさもその通りなのだけれど、個人的には賭けの材料とされたヨブにしてみれば、本音のところは「やるせなかった」だろうに思ってしまう私はやっぱり不謹慎かな～。でも、“主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ”って、どっちよ～。まだまだ読み足りない。あ～勉強！